

中学生・高校生向け



『アフリカで、バッグの会社をはじめました』
江口絵理／著
さ・え・ら書房 ¥1,500 (税別)

ウガンダでバッグを作る会社を起業し、雇用を生むことで女性たちを支援している仲本千津さんの半生を描く。医師や国連職員になる夢をあきらめ、銀行からアフリカ支援 NGO に転職し……と順風満帆でなくても、前向きに進む姿に勇気づけられる。



『雨にシュ克蘭』
こまつあやこ／著
講談社 ¥1,400 (税別)

真歩は、高校に進学しあこがれの書道部に入ったが、家庭の事情で通いきれず退学。無気力になったときに会ったのが、アラビア書道だった。美しい文字を見て、書きたい気持ちに火がつき……。シュ克蘭は、アラビア語で「ありがとう」の意味。



『アンナの戦争』
ヘレン・ピーターズ／作 尾崎愛子／訳
偕成社 ¥1,700 (税別)

第二次世界大戦中、「キンダートランスポート」により、ドイツからイギリスの家庭に引き取られたユダヤ人の少女アンナ。国に残した両親を思い、差別や恐怖を乗り越えて生きる少女の勇気ある行動と、深い愛で彼女を受け入れた里親家族の物語。



『アンナは、いつか蝶のように羽ばたく』
ウェイ・テム／著 冬木恵子／訳 山本真奈美／訳
アストラハウス ¥2,000 (税別)

オーストラリアの高校生アンナ。香港出身の母親は、異国での生活が合わず寝込みがち。中華料理店を経営する父親は妻の心と向き合えず、家に帰ってこない。アンナは父親の店で働くローリーと親しくなるが、家事と弟妹の世話に追われ……。



『美しい実験図鑑』
さとうかよこ／著
新星出版社 ¥1,800 (税別)

虹色に輝く液晶を作る実験など、見ているだけでも楽しい、まるで魔法が錬金術のような雰囲気漂う美しい実験の数々。知っておきたい実験のポイントや手順、危険性なども写真で解説。QRコードから公式 Web サイトで一部の実験動画が視聴可能。



『カビンくんとドンマちゃん』
加藤路瑛／著 黒川駿哉／監修 中村至宏／絵
ワニブックス ¥1,450 (税別)

感覚過敏の中学生の男の子と、クラスメイトで感覚鈍麻の女の子。違う感覚を持つ二人が、学校の制服や食事などの日常生活で感じている悩みや葛藤を、感覚過敏当事者の著者がストーリー形式で解説。一人ひとり違う感覚特性への理解が深まる。



『9月1日の君へ』
代麻理子／企画・著
教育評論社 ¥1,800 (税別)

「若いあなたに死んで欲しくない」と願う大人たちによって作られたメッセージ集。「頑張らなくてもいいし、頑張ってもいい」「大人になっても、たくさん失敗する」。苦しいときに思い出してほしい一冊。



『この夏の星を見る』
辻村深月／著
KADOKAWA ¥1,900 (税別)

コロナ禍で部活動が制限される中、砂浦第三高校天文部による手作り望遠鏡で星を見つけるスターキャッチコンテンツは、茨城、東京、長崎五島列島をオンライン会議でつなぎ、やがて全国の中高生をつなげるイベントに広がっていく。

その他のおすすめの本

『あした、弁当を作る。』
ひこ・田中／著 講談社 ¥1,400 (税別)

『アップサイクル！』
佐藤まどか／作 木内達朗／装画・挿絵 ポプラ社 ¥1,600 (税別)

『いじめられっ子だった弁護士が教える自分の身のまもり方』
菅野朋子／著 草思社 ¥1,600 (税別)

『きみの話を聞かせてくれよ』
村上雅都／作 カシワイ／絵 フレーベル館 ¥1,540 (税別)

『10代が考えるウクライナ戦争』
岩波ジュニア新書編集部／編 岩波書店 ¥900 (税別)

『10代のうちに知っておきたい言葉と心の切りかえ術』
大野萌子／著 笠間書院 ¥1,700 (税別)

『鈴の送り神修行ダイアリー』
山下雅洋／作 酒井以／画 岩崎書店 ¥1,300 (税別)